



「お客様応援企業」の 経営方針と活動のポイント

従 来の金融機関の枠を超えた

「お客様応援企業」を目指し、取引先企業や地域住民に向け様々なサービスを展開する城南信用金庫。東京地区や東北地方をはじめ各地の信用金庫との共催で始めた「よい仕事おこしフェア」は、平成28年8月の開催で5回目を迎え、全国規模のマッチングフェアとして広がりを見せている。

27年6月には、法人・個人のお客様の様々な相談にワンストップで対応する「城南なんでも相談プラザ」をオープン。また、金融取引や財産管理などに不安を持つ高齢者向けには、総合サポートサービス「いつでも安心サポート」の取扱いを開始した。

こうした一連の取組みが奏功。アベノミクス効果がなかなか中小企業にまで及ばない中、健全・堅実経営をモットーに着実に業績をあげている。

本インタビューでは、守田正夫・城南信用金庫理事長に「お客様応援企業」の考えのもと展開する様々な取組みや預貸推進面のポイントなどを伺った。

フェア・相談プラザなど多様な 取組みで地域の繁栄に貢献

全国の信用金庫や専門家等と協力し応援体制を充実

よい仕事おこしフェアで

新しい出会いの場を提供

——「お客様応援企業」を経営方針に掲げていますが、それはどのようなお考えからなのですか。

守田 経済成長を目的としたアベノミクスですが、中小企業に目を向けると引き続き厳しい状況が続いています。株安・円高が是正されて恩恵を受けたのは輸出関連の大企業が中心で、私どものお取引

先である中小企業までその効果は波及していません。政府の景気対策は限定的で、アベノミクスは道半ばと言わざるを得ません。

私どもは「地域の人々を守り幸

せにする公共的使命を持った社会貢献企業」を目指しております。

わが国の産業を支える中小企業の皆様から、未だ景気回復の実感を得るに至っていないという声を聞きする中で、私どもにできることは何かを考えた結果、従来の金融機関の枠を超えた「お客様応援企業」として活動していくことを決意しました。

「お客様応援企業」として、地域のお客様の発展・繁栄をご支援させていただくうえでは、やはり私どもだけの力では限界がありますので、全国の信用金庫、専門家、各種支援機関などと連携して取り組んでいるところです。

——ここ数年、いろいろな取組みをされていますが、まずは「よい仕事おこしフェア」についてお聞かせください。

守田 第1回「よい仕事おこしフェア」は、平成24年11月、東京ドームにおいて、東京地区や東北地方の信用金庫を中心に、63の信用金庫共催で行われました。このフェアは、信用金庫のお取引先をはじめ、行政機関や教育機関、社会福祉団体などが一堂に会し、結びつき・助け合いの中から販路拡大や企業間連携など、新たな「よい仕事」の実現を後押しさせていただくことが目的です。

23年3月11日に起こった東日本

大震災からの復興支援の思いも込めており、「東北復興応援」は第1回フェアから継続したテーマとなっています。

第2回フェアからは場所を東京国際フォーラムに移して開催していますが、おかげさまで毎回多くの皆様にご来場いただき、商談や交流の中からたくさんの新しい出会いや絆が生まれています。

28年8月2日、3日に開催した第5回フェアは、夏休み期間中ということもあり親子連れや外国人観光客の姿も目立ち、2日間で3万7570名のご来場者をお迎えし、5674件の商談が行われました。